Combi

コンビ　チャイルドシート
ミニマグランデシリーズ

取扱説明書 （品質保証書付）

●お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。
●50ページの品質保証書に、必要事項をご記入ください。
●**本書はシートカバー側面ポケットに保管してください。（5ページ参照）**

危険 体重 9kg 未満は必ず後向きでご使用ください。前向きでの使用は非常に危険です。

本製品は、ヨーロッパ統一規則（ECE R44/04 改訂）において認可された商品です。
●汎用型(ユニバーサル)：質量グループ 0.　1
●お子さまの体重：～ 18kg 以下の乳幼児用
●弊社の「取付確認車種リスト」にて取り付け可能な車の座席のみ使用可能

お使いいただく前に

このたびは、コンビ チャイルドシートをお買い上げいただき、ありがとうございます。
お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。

チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは、必ず保護者のかたが同乗してください。

●表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表　示	表示の内容
⚠危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。
ワンポイント	チャイルドシートをご使用いただく上で知っておいていただきたいこと、および知っておくと便利な内容です。

もくじ

お使いいただく前に

車に取り付ける前に

車への取り付け

お手入れ

各部のなまえ

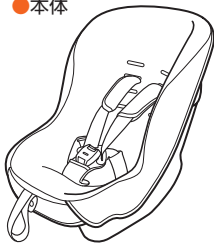
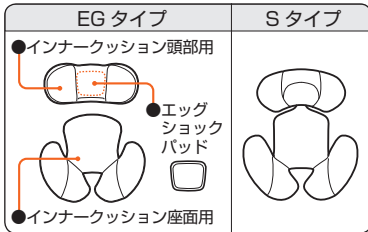
ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。
本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため、
製品とは若干異なる場合があります。

●ご使用前に、本書50ページの「品質保証書」に次の項目を記入してください。
①製品名とロットNo.（本体背面に貼ってあるシールに記載されています）
②お客様のお名前・ご住所・電話番号
③販売店名
●領収書（レシート）を本書といっしょに保管してください。

梱包内容

●本体

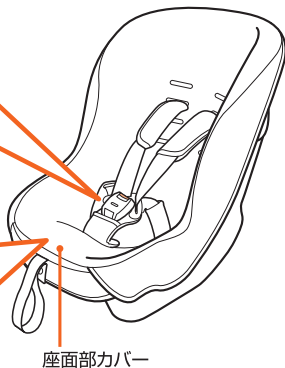
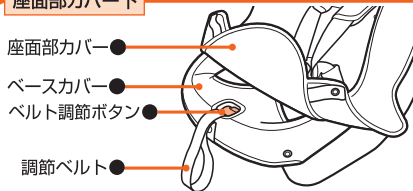
●インナークッション

EG タイプ	S タイプ
●インナークッション頭部用 ●エッグショックパッド ●インナークッション座面用	

●取扱説明書（本書）

●お客様登録カード

EG タイプのエッグショックパッドについて
※工場出荷時、エッグショックパッドはインナークッションに取り付けられています。

つづく

正面

※座面部カバーのはずしかたは、33 ページ参照。

各部のなまえ

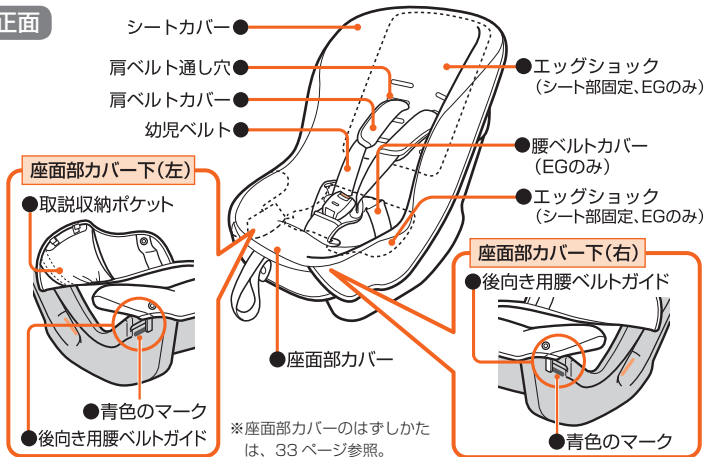
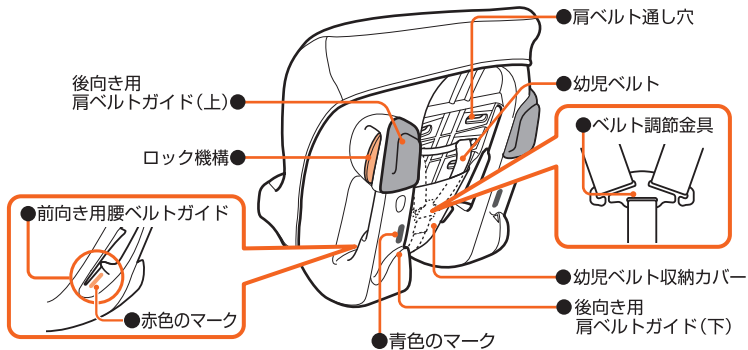
正面

シートカバー
肩ベルト通し穴
肩ベルトカバー
幼児ベルト
エッグショック
（シート部固定、EGのみ）
腰ベルトカバー
（EGのみ）
エッグショック
（シート部固定、EGのみ）

座面部カバー下（左）
●取説収納ポケット
●青色のマーク
●後向き用腰ベルトガイド

座面部カバー

座面部カバー下（右）
●後向き用腰ベルトガイド
●青色のマーク

※座面部カバーのはずしかたは、33 ページ参照。

背面

※インナークッションについては、「インナークッションの使いかた」(２１ページ)を参照。

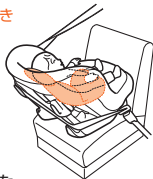
使用条件

ここでは、お子さまの体重によるチャイルドシートの取り付けの向き、インナークッションの使いかたを説明しています。お子さまの体重にあわせて正しくお使いください。

お子さまの体重にあわせて、3 段階の使いかたをします。

1 体重 7kg 未満の場合

身長の目安：～ 60cm 程度
年齢の目安：
新生児～４ヵ月ころ(首がすわるころ)
※新生児とは、体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上

●後向き

その他の条件

●後頭部がインナークッションから出ないこと

⚠注意 お子さまへの負担を考え、長時間連続しての使用を避け、１時間程度を目安に休憩をとってください。また、首がすわるころまでは、お子さまの体調の変化に気をつけながらご使用ください。

使いかた

●進行方向に対して後向き(P33)
●Sタイプ(3ページ参照)
インナークッションを必ず使用する
●EGタイプ(3ページ参照)
インナークッション頭部用と座面用を必ずセットで使用する(P23)

2 体重 7kg 以上～10kg 未満までの場合

身長の目安：
60cm～75cm程度
年齢の目安：
４ヵ月ころ(首がすわるころ)～１才ころ

その他の条件

⚠危険

● 体重9kg未満は必ず後向きでご使用ください。前向きでの使用は非常に危険です。
●「身長の目安」や「年齢の目安」はあくまでも目安です。身長や年齢が上記条件を満たして

●後向き

使いかた

● 進行方向に対して後向き (P33)
● Sタイプ(3ページ参照)
インナークッションは使用禁止
● EGタイプ(3ページ参照)
インナークッション座面用は使用禁止
※ インナークッション頭部用が使用できます。お子さまの体形にあわせて任意に使用してください (P23)

3 体重 9kg 以上～18kg 以下までの場合

●前向き

身長の目安：
75cm ～ 105cm 程度
年齢の目安：
1 才～ 4 才ころ

その他の条件

●後頭部がチャイルドシートの背もたれから上に出ないこと

使いかた

● 進行方向に対して前向き (P41)
● Sタイプ(3ページ参照)
インナークッションは使用禁止
● EGタイプ(3ページ参照)
インナークッション座面用は使用禁止
※ インナークッション頭部用が使用できます。お子さまの体形にあわせて任意に使用してください (P23)

いても、「体重条件」を満たしていないお子さまはお使いになれません。

シートベルトの種類と使用上の注意

チャイルドシートは､シートベルトの種類により取り付けかたが異なったり､取り付けられない場合があります。
本製品は UN/ECE 規則 No.16 または、他の同等の基準に基づいて認可された 3 点式シートベルトを装備した車種に限り使用するのに適しています。

※日本国内で登録されている自動車は、ほぼ適合しております。
車種適合につきましては下記のサイトにてご確認ください。

パソコンから http://www.combibaby.com
携帯電話から http://www.combibaby.com/i/

コンビ　適合　検索

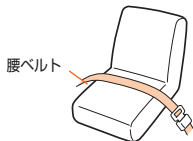
携帯電話 QR コード※

※ QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

※取り付ける車種によっては、別売りの「フィットマット」が必要な場合があります。必ず取付確認車種リストをご確認ください。

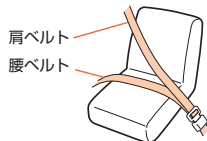
⚠危険
- 必ず３点式シートベルトの座席に取り付けてください。
- 2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず､大変危険です。

2 点式シートベルトとは

図のように、肩ベルトがなく、腰ベルトの左右 2 点で体を支えるシートベルトのこと。

腰ベルト

3 点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの 3 点で体を支えるシートベルトのこと。

肩ベルト
腰ベルト

シートベルトの種類と特徴（見分けかた）		後向き取り付け注意点	前向き取り付け注意点
ELR	ゆっくり引くと自由に出入りし、勢いよく引くとロックする。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けてください。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けてください。本製品のロック機構により固定してください。
AELR	シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すと自動的に締まり、それ以上伸びなくなる。(シートベルトを全て巻き戻すと解除される)	シートベルトを全て引き出すと危険です。シートベルトを１度戻して、チャイルドシート固定機能を解除してから取り付けてください。	シートベルトを全て引き出し、チャイルドシート固定機能をきかせた状態で、本製品のロック機構により固定してください。
NR	巻き取り装置の付いていないシートベルト。	チャイルドシートにあわせてシートベルトの長さを調節し、固定してください。	チャイルドシートにあわせてシートベルトの長さを調節し、本製品のロック機構により固定してください。
NLR	ロック機能のない巻き取り装置付きシートベルト。		
ALR	シートベルトを引き出す途中で止めるとロックされ、それ以上引き出せなくなる。	**使用できません。**	

＊シートベルトの種類が不明な場合は、各自動車メーカーにお問い合わせください。

取り付けできない座席

下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかり固定できない場合には使用しないでください。

- シートベルトの付いていない座席。
- 進行方向に対して横向き、または後向きの座席。
- 2点式シートベルトの座席。
- 座面の奥行きが40cm未満の座席。

40cm未満

- 極端なバケットシート。
  …座面の中央が深くへこんでいる座席。

次の条件のいずれか１つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

●パッシブシートベルトの付いた座席。

※パッシブシートベルトとは

…車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置のこと。（オートマチックシートベルト）

●エアバッグ装備の座席。

…サイドエアバッグのみの場合には使用できます。

●シートベルトが座席の中間から出ている座席。

…チャイルドシートのシートベルト通し穴の位置よりも、前方向からシートベルトが出ている座席。

シートベルト通し穴

●座席の凹凸が極端で、取り付けたときに不安定になる座席。

●シートベルトの取り付け幅※が 32cm 未満の座席。

※シートベルトが座席の端にあたっているところから、バックルの付け根までの長さ。

32cm未満

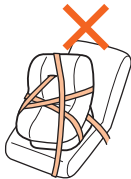
●シートベルトの長さが極端に短い座席。

安全にお使いいただくために

⚠危険

次のような使いかたは、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

- 使用条件に適合しないお子さまや、取り付けできない座席などでは、使用しないでください。
- お子さまがチャイルドシートの上に立ったり、中腰になったり、正座をしないように注意してください。
座らせたときには、お子さまに股あてパッド、幼児ベルトが正しく装着され、左右の差込タングがしっかりバックルに差し込まれ、表示が緑色に変わっていることを確認してください。
- 車に取り付けるときは、必ず車両シートベルトで固定してください。ひもなど、車両シートベルト以外のもので固定しないでください。
- 車に取り付けるときは、車両シートベルトを取扱説明書および本体表示に従って正しく通して取り付けてください。誤った部分を通して取り付けないでください。

つづく

⚠危険

●エアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。

…サイドエアバッグのみの場合には使用できます。

●車両シートベルトおよび座席の種類などにより、取扱説明書どおりにチャイルドシートをしっかり固定できないときは、他の座席に取り付けてください。

⚠緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者のかたがバックルボタンを押し、幼児ベルトをはずして、すみやかにお子さまを車外に脱出させてください。

⚠警告

次のような使いかたは、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

●幼児ベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。
※幼児ベルトは正しい長さに調節してください。
（24、28ページ参照）

●7kg未満の小さなお子さまを座らせる場合には、必ずインナークッションを正しく取り付けて、お子さまの体にフィットした状態で使用してください。
（21ページ参照）

●衝突事故や製品を落下させたときなど、１度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。

●車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けないでください。

●バックルにゴミなどが詰まって確実に差し込めない場合は修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。

つづく

⚠警告

●幼児ベルトに傷がついたときは、ご使用にならないでください。修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。

●お子さまがバックルボタンを押してしまう可能性があります。差込タングがバックルからはずれていないことを確認してください。
はずれていると本来の働きをせずさらにベルトが首に巻き付くおそれもあります。

●チャイルドシートにお子さまが座った状態で運ばないでください。

⚠警告

次のような使いかたは、お子さまや同乗しているかたに危険をまねくおそれがあります。

●お子さまがチャイルドシートに座っていないときでも、必ず車両シートベルトで固定しておいてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。

●助手席に、チャイルドシートを後向きに取り付け、ドアミラーが見えにくいときは、後座席に取り付けてください。

●シフトレバーやパーキングブレーキなどの運転操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けないでください。

●２ドアや３ドアの車で後座席に人が乗る場合は、チャイルドシートを助手席に取り付けないでください。緊急時の脱出の妨げになります。

●お子さまを車内に１人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の原因となります。必ず保護者のかたが同乗してください。

つづく

⚠日常の点検

チャイルドシートの本来の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。

幼児ベルトにねじれやたるみがないこと

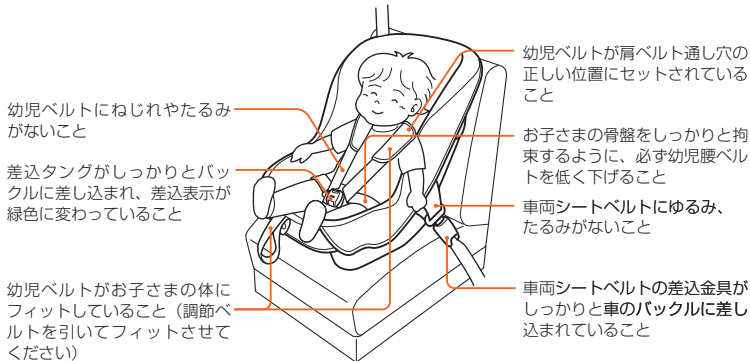
差込タングがしっかりとバックルに差し込まれ、差込表示が緑色に変わっていること

幼児ベルトがお子さまの体にフィットしていること（調節ベルトを引いてフィットさせてください）

幼児ベルトが肩ベルト通し穴の正しい位置にセットされていること

お子さまの骨盤をしっかりと拘束するように、必ず幼児腰ベルトを低く下げること

車両シートベルトにゆるみ、たるみがないこと

車両シートベルトの差込金具がしっかりと車のバックルに差し込まれていること

※イラストは前向き使用例

⚠注意

●直射日光が当たると、本体や差込タングなどが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。夏などの日差しが強い日は、日かげに駐車するか、チャイルドシートにカバーなどをかけてください。また、お子さまを座らせる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。

●製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

●出荷時に取り付けられている部品、および当社指定の部品以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

●チャイルドシートを通常の椅子として使用すると、転倒してけがをするおそれがあります。本書に記載されていない使いかたをしないでください。

●チャイルドシートを車のシート可動部やドアにはさまないように、十分注意してください。

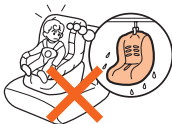
●走行中は、チャイルドシートの操作や調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないようにしてください。

⚠注意

●シートカバーなどの縫製品や、ウレタンなどのクッション材をはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。（衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります）

●車の座席に、クッションや座布団などを敷いたまま、チャイルドシートを取り付けないでください。チャイルドシートがしっかり固定されません。

●座席の表皮素材（革など）および形状によっては、取り付けた座席に傷や跡がつくおそれがあります。別売りの「コンビ ズレ防止・保護シート」の使用をおすすめします。

●チャイルドシートを風雨にさらさないでください。

●固定されていない物を車内に置く場合は急ブレーキや衝突時にお子さまに当たるおそれがありますので、十分注意してください。

インナークッションの使いかた（7kg未満のお子さまには）

インナークッションは、小さな赤ちゃんを保護するためのものです。お子さまの体重が7kg未満の場合には、インナークッションをお使いください。（工場出荷時、インナークッションは取り付けられています）また、7kg以上になりましたら必ず取りはずしてください。
※インナークッション頭部用（EGタイプ）の使いかたは、23ページ参照。

⚠警告

●インナークッション（Sタイプ）やインナークッション座面用（EGタイプ）が使用できるのはお子さまの体重が7kg未満までです。7kg以上で使用すると、本来の機能を果たさず危険です。
※お子さまの体重が7kg以上の場合、インナークッション頭部用（EGタイプ）は使用できます。（２３ページ参照）

⚠注意

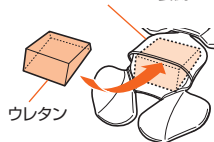
●チャイルドシートを持ち運ぶときには、インナークッションを持たないでください。

ワンポイント

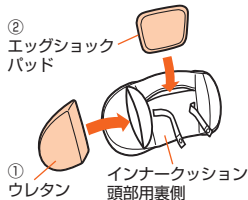
●体重が7kg未満のお子さまでも、体格によってはインナークッションにより幼児ベルトが窮屈になる場合があります。
●幼児ベルトの調節（２８ページ参照）を行っても窮屈になる場合は、インナークッション（Sタイプ）やインナークッション座面用（EGタイプ）の中に入っているウレタンを取りはずしてお使いください。

インナークッションの

●インナークッション（Sタイプ）
●インナークッション座面用（EGタイプ）

洗濯時などは、インナークッションの中のウレタンを、インナークッション裏側から取り出します。

入れるときは、広い面を表側にして、お子さまの背中にあたるようにしてください。
また、ウレタンの上下の向きにも注意してください。

お手入れについて

●インナークッション頭部用(EGタイプ)

① ウレタンを入れるときは、広い面を表側にして、お子さまの頭部にあたるようにしてください。またウレタンの上下の向きにも、注意してください。
② インナークッション頭部用を洗濯するときは、必ずエッグショックパッドを取りはずしてください。

インナークッション(Sタイプ)と インナークッション座面用(EGタイプ)の取り付けかた

バックルボタンを押して差込タングをバックルからはずし(P29)、シート部にインナークッションをのせる。

❶ インナークッション(S タイプ) は取り付けひもを上から2段目の肩ベルト通し穴に通し、
❷ 本体背面でむすぶ。

インナークッション頭部用(EG タイプ)の使いかた

ここでは、インナークッション頭部用(EG タイプ)の使いかたを説明しています。
(エッグショックパッドは工場出荷時はインナークッションに取り付けられております)
※エッグショックパッドやウレタンは、取り付けなくてもチャイルドシートをお使いいただけます。(22 ページ参照)

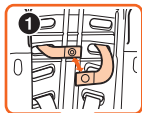
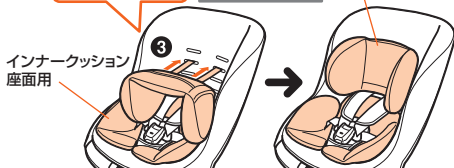
⚠警告

●お子さまの体重が7kg未満の場合は、インナークッション頭部用と座面用を必ずセットで使用してください。
●インナークッション座面用が使用できるのはお子さまの体重が7kg未満までです。7kg以上で使用すると、本来の機能をはたさず危険です。

ワンポイント

●お子さまの体重が7kg以上の場合、インナークッション頭部用のみ使用できます。お子さまの体形にあわせて任意に使用してください。
●肩ベルト通し穴の位置(24ページ参照)が最上段の場合は、インナークッション頭部用はご使用になれません。

インナークッション頭部用(EGタイプ)の取り付けかた

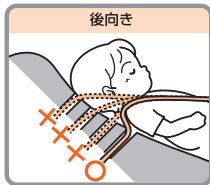
❶ シート部裏側からゴムベルトのホックをはずし、インナークッション頭部用の取りはずしと取り付けをする。
❷ 凸部がお子さまの首にあうように位置を決め、
❸ ゴムベルトを左右同じ高さの肩ベルト通し穴に通し、シート部裏側からホックをとめて取り付ける。

お子さまにあわせた肩ベルトの調節のしかた
つづく

肩ベルト通し穴の位置は、後向きと前向きで選ぶ位置が異なります。取り付け方向により適正な位置を選んで使用してください。

肩ベルト通し穴の位置

●後向き取り付け時

必ず、最下段の肩ベルト通し穴を使用する。

後向き

●前向き取り付け時

肩よりすぐ上の肩ベルト通し穴を使用する。

前向き

ワンポイント

●股ベルトの長さや位置は調節できません。
肩ベルトの長さを調節してください。

肩ベルト通し穴の位置を調節する

1 あらかじめ、お子さまをチャイルドシートに座らせ、正しい肩ベルト通し穴の位置を確認する。
（本ページ「肩ベルト通し穴の位置」参照）

⚠警告

- ●肩ベルト通し穴位置は、取り付け方向により適正な位置を選んで使用してください。
- ●肩ベルト通し穴は、左右同じ高さの穴を使用してください。
- ●チャイルドシートが不安定な状態でお子さまを座らせると、転倒のおそれがあります。お部屋などで確認されるときは、ご注意ください。

お子さまにあわせた肩ベルトの調節のしかた

2 ❶座面部カバーをめくり、
❷ベルト調節ボタン(オレンジ色)の奥側の『PRESS』マーク(刻印)を押しながら、
❸左右の幼児ベルトの両方を持ち手前に引きゆるめる。
※肩ベルトカバーを引いても幼児ベルトはゆるみません。必ず、幼児ベルトを引いてください。

3 ❶本体背面の幼児ベルト収納カバーをはずす。
❷ベルト調節金具から幼児ベルトをはずす。

つづく

4 幼児ベルトを肩ベルトカバーから引き抜く。

※肩ベルトカバーを引いても幼児ベルトははずれません。必ず、幼児ベルトを引いてください。

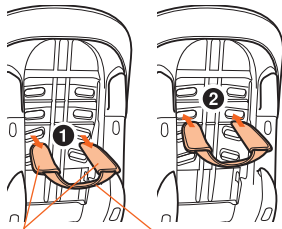
肩ベルトカバー

幼児ベルトを引き抜く

5 肩ベルトカバーの位置を変える。

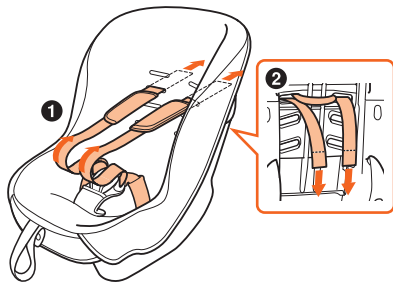
❶ 左右の肩ベルトカバーを本体背面から片方ずつ引き抜く。

※左右の肩ベルトカバーは、連結ベルトにより本体背面でつながっています。

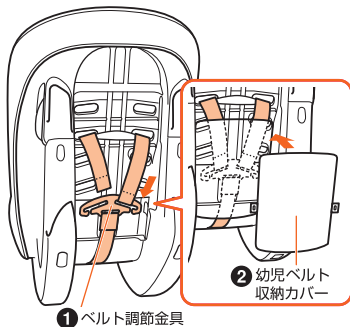
❷ 肩ベルトカバーを適正な肩ベルト通し穴に通す。

肩ベルトカバー　連結ベルト

ワンポイント

●肩ベルトカバーがうまく引き抜けないときは、本体正面から肩ベルト通し穴に肩ベルトカバーの先端を押し込みながら、本体背面より引き抜いてください。

6
❶ 肩ベルトカバーに幼児ベルトをねじれないように注意しながら通す。
❷ 本体背面に引き出す。

7
❶ 幼児ベルトをベルト調節金具に取り付け、
❷ 幼児ベルト収納カバーを上下に注意し、取り付ける。

お子さまの座らせかた

つづく

あらかじめ、使用するベルト通し穴の位置をお子さまの体にあわせてください。（24～27ページ参照）

⚠ 警告

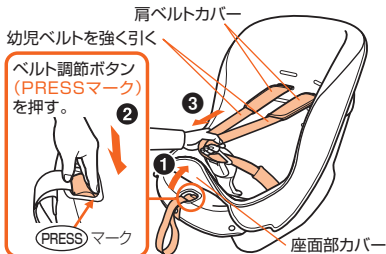
●おくるみなど、両足が分かれない衣類の着用はおやめください。

●お子さまをタオルなどでくるんだまま、座らせないでください。
●かさばったベビーウェアを着せたまま、座らせないでください。
●お子さまを座らせるときには、下図のような座らせかたをしないでください。
チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

1 ❶座面部カバーをめくり、
❷ベルト調節ボタン（オレンジ色）の奥側の『PRESS』マーク（刻印）を押しながら、
❸左右の幼児ベルトの両方を持ち手前に引きゆるめる。
※肩ベルトカバーを引いても幼児ベルトはゆるみません。必ず、幼児ベルトを引いてください。

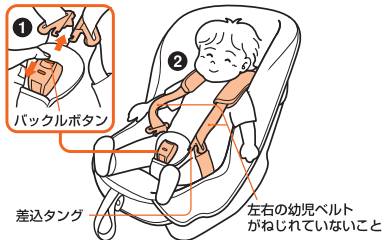
肩ベルトカバー
幼児ベルトを強く引く
ベルト調節ボタン（PRESSマーク）を押す。
PRESS マーク
座面部カバー

幼児ベルトを長くする（お子さまをおろすときは）

お子さまの座らせかた

2 ❶バックルボタンを押して、差込タングを抜き、
❷お子さまを深く座らせて、左右の腕を幼児ベルトに通す。

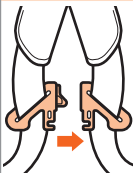
❶ バックルボタン

❷ 差込タング

左右の幼児ベルトがねじれていないこと

❷ インナークッションにあわせて、お子さまを深く座らせてください。

3 左右の差込タングを組みあわせてから『カチッ』と音がするまで、差込タングをバックルに差し込む。

左右を組みあわせ → 差し込む

差込表示赤色が緑色に変わります。

ワンポイント

●後向き使用時は、車の室内側からお子さまを乗せ降ろしすると、車両シートベルトがじゃまになりません。

●バックルのボタンは、お子さまの力ではずれないように固くしてあります。

警告

●左右の差込タングが、確実にバックルに差し込まれていないと、衝突時にお子さまが飛び出したり、ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。

お子さまをおろすときは、1と2の手順で行います。

4 幼児ベルトを短く調節する。

❶ 腰ベルトは、必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにし、腰部に密着させる。

❷ 肩ベルトは、必ず肩の中央に十分かかるようにする。

❸ 座面部カバー下の調節ベルトの上側を手前に引き、左右の幼児ベルトをお子さまの体にフィットさせる。

ワンポイント

●お子さまが窮屈でないように、また幼児ベルトがたるんだり、ゆるまないように調節してください。

●お子さまと幼児ベルトの間に、大人の手のひらが入るくらいが適切です。きつかったり、ゆるかったりするときには、幼児ベルトの長さを調節してください。

●幼児ベルトをゆるめるときは、「幼児ベルトを長くする」(28ページ)を参照してください。

⚠ 警告

●必ず幼児ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。

●幼児ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻き付き窒息するおそれがあります。

車への取り付け

ここでは、取り付け上の注意、後向きの取り付けかた、前向きの取り付けかたを説明しています。

※車の座席形状などにより、取り付けできない場合があります。（11～12ページ参照）

⚠危険

- ●チャイルドシートがしっかり固定できない場合は、本来の機能を果たさず大変危険ですので、他の座席に取り付けてください。
- ●車に取り付けるときは、ひもなど、車両シートベルト以外のもので固定しないでください。
- ●エアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。
  ※サイドエアバッグのみの場合には使用できます。

⚠警告

- ●車両シートベルトに傷がある場合は､その座席に取り付けないでください。
- ●お子さまがチャイルドシートに座っていないときでも、必ず車両シートベルトで固定しておいてください。
- ●助手席に、チャイルドシートを後向きに取り付け、 ドアミラーが見えにくいときは、後座席に取り付けてください。
- ●シフトレバーやパーキングブレーキなどの運転操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けないでください。
- ●2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合は、チャイルドシートを助手席に取り付けないでください。緊急時の脱出の妨げになります。

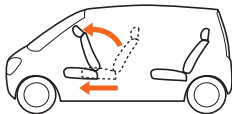
取り付け準備

取り付け作業の前に

1 取り付け作業は、ドアが全開可能な、平らな場所で行ってください。

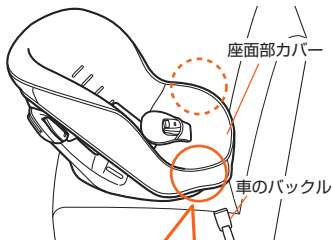
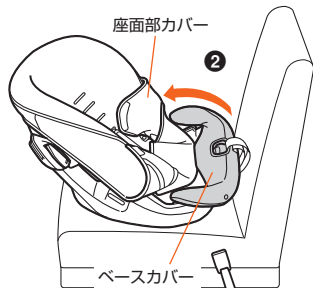
2 車内の作業スペースを確保するため、前座席をたおしたり、スライドさせてから取り付けてください。

取り付け座席のスライド機能について

取り付け手順終了後に取り付け座席を前にスライドさせると、より確実に固定できます。

後向き取り付け（体重 10kg 未満のお子さま）

後向き取り付けの場合、座面部カバーを大きくめくり、車両シートベルトを取り付けます。
※インナークッションを取りはずしてから、車への取り付けをします。（21 ページ参照）

1 本体を車の座席に後向きに置き、座面部カバーをはずす。

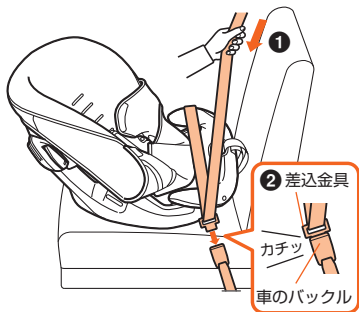
❶ シートカバー左右の前部のホックと側面のフックをはずす。

❷ 座面部カバーを大きくめくる。

ワンポイント

●車両シートベルトの腰ベルトは、座面部カバーとベースカバーの間に通して取り付けます。

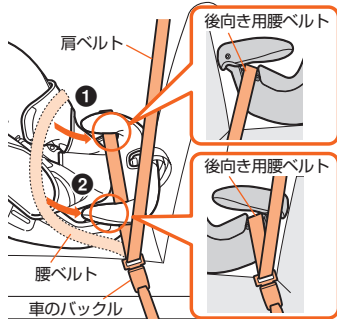
つづく

2 車両シートベルトを取り付ける。

❶ 車両シートベルトをねじらないようにゆっくりと引き出し、

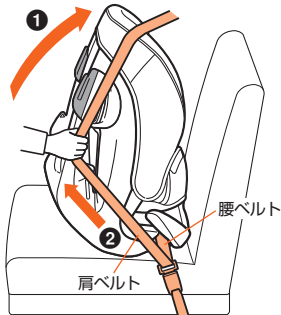
❷ 差込金具を車のバックルに差し込む。

3 腰ベルトを取り付ける。

❶ 車のバックルの反対側の後向き用腰ベルトガイド、

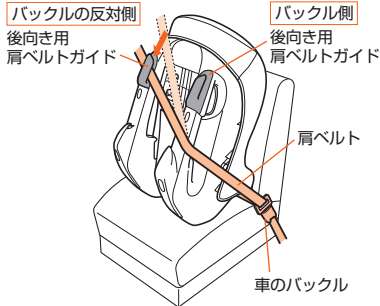
❷ 車のバックル側の後向き用腰ベルトガイドの順に、腰ベルトを通す。

※腰ベルトを、左右の腰ベルトガイドの青色のマークにかかるように通してください。（青色のマークの位置は、5ページ参照）

4 腰ベルトのゆるみをとる。

❶ 本体を矢印の方向へ起こし、
❷ 肩ベルトを手前に引き、
腰ベルトのゆるみをとる。

❶
❷
腰ベルト
肩ベルト

5 肩ベルトを取り付ける。

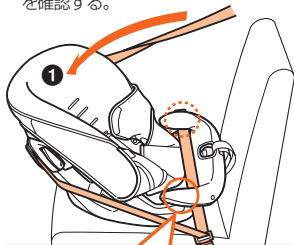
肩ベルトを強く引いたまま、
車のバックルの反対側の青色の後向き用
肩ベルトガイドにはさみ込む。

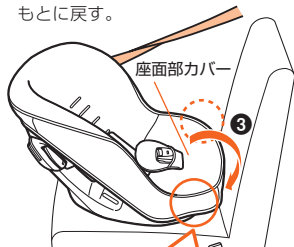
バックルの反対側
後向き用
肩ベルトガイド
バックル側
後向き用
肩ベルトガイド
肩ベルト
車のバックル

ワンポイント

- 車のバックル側の後向き用肩ベルトガイドは使用しません。
- 車のバックルの反対側の後向き用肩ベルトガイドだけを使用します。

つづく

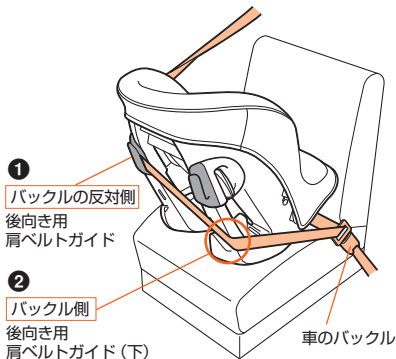
6 腰ベルトを確認する。

❶ 本体を矢印の方向に倒したら、
❷ 腰ベルトが左右の後向き用腰ベルトガイド（P３４参照）に通っていることを確認する。

腰ベルトの確認が終わったら、

❸ シートカバー左右の前部のホックと側面のフックをとめ、座面部カバーをもとに戻す。

7 肩ベルトを確認する。

❶ 車のバックルの反対側の青色の後向き用肩ベルトガイドと、
❷ 車のバックル側の後向き用肩ベルトガイド(下)の青色のマークに、
肩ベルトがかかるように通っていることを確認する。
（青色のマークの位置は、6ページ参照）

❶
バックルの反対側
後向き用
肩ベルトガイド

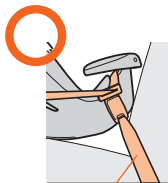
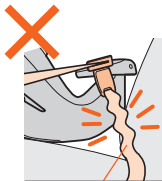
❷
バックル側
後向き用
肩ベルトガイド（下）

車のバックル

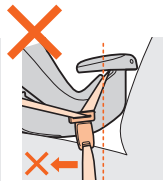
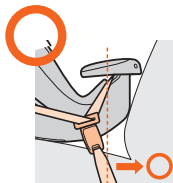
ワンポイント

●チャイルドシート固定機能がついている場合、車両シートベルトをすべて引き出すとロックし、取り付けができなくなる場合があります。
※車両シートベルトを引き出しすぎないでください。

●車両シートベルトがロックし、取り付けができない場合は、33ページ手順1から作業をやり直してください。

つづく

⚠警告

バックルベルト

バックルベルト

●車のバックルが後向き用腰ベルトガイドにあたることで、バックルベルトにゆるみができると、取り付けが不安定になります。
バックルベルトにゆるみがある状態では、使用しないでください。

●バックルベルトの根元が、後向き用腰ベルトガイドより前から出ている座席では、取り付けが不安定になる場合があります。
※取り付ける車種によっては、別売りの「フィットマット」が必要な場合があります。必ず取付確認車種リストをご確認ください。

ご不明な点は、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。

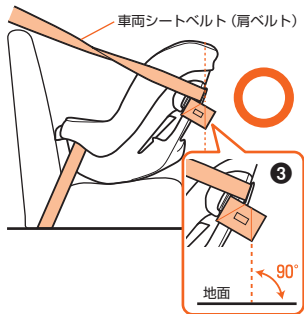
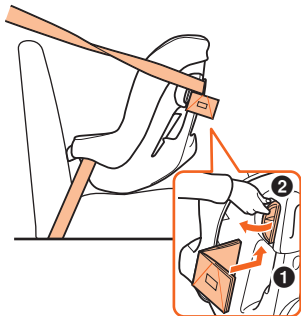
8 チャイルドシートの取り付け角度を調節する。

❶ 取扱説明書を真中のページで開き、
❷ 図のように赤色のロック機構にはさむ。

❸ 裏表紙の角度チェッカーのオレンジのラインが垂直（地面に対して９０゜）になるように、背面の角度を調節する。

車両シートベルト（肩ベルト）

90°

地面

ワンポイント

●後向き使用時は、車の室内側からお子さまを乗せ降ろしすると、車両シートベルト(肩ベルト)がじゃまになりません。

後向き取り付け完了チェックのしかた

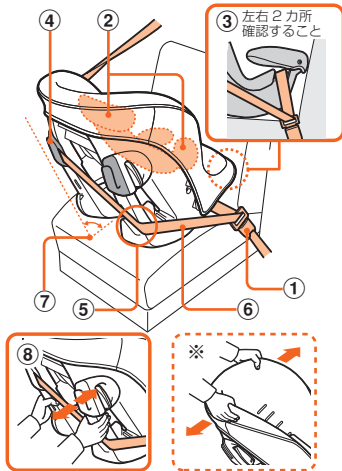
取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

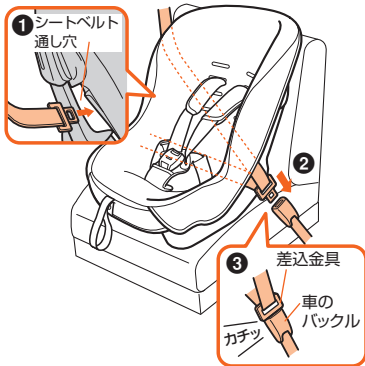
①車両シートベルトの差込金具が車のバックルに確実に差し込まれており、はずれないこと
②お子さまの体重が7kg未満の場合は、インナークッションが取り付けてあること
③腰ベルトが左右の後向き用腰ベルトガイドに通っていること
④肩ベルトが車のバックルの反対側の後向き用肩ベルトガイドに通っていること
⑤肩ベルトが車のバックル側の後向き用肩ベルトガイド(下)に通っていること
⑥車両シートベルトに、たるみがないこと
⑦角度チェッカーにより、適正な角度になっていること
⑧本体部分を持ち前後にゆすり、チャイルドシートが車の座席の背もたれから離れないこと。

※ チャイルドシートの構造上、本体が左右に動きますが、使用上問題はありません。

ワンポイント

● 後向き取り付け時は、本体を動かし背面の角度が調節できるように、底面部が円弧形状になっています。
● 取り付け確認後、お子さまの体重が7kg未満(P7参照)の場合はインナークッションを取り付けます。「インナークッションの使いかた」(P21)参照。

③ 左右2カ所確認すること

前向き取り付け（体重9kg～18kg未満のお子さま）

1 **車両シートベルトを取り付ける。**
本体を車の座席に前向きに置き、車両シートベルトをねじらないようにゆっくりと引き出し、
❶シートベルト通し穴に通し、
❷反対側の通し穴から引き出し、
❸差込金具を車のバックルに差し込む。
❹腰ベルトが、左右の前向き用腰ベルトガイドの赤色のマークにかかるように通っていることを確認する。（赤色のマークの位置は、6ページ参照）

❶シートベルト通し穴
❷
❸差込金具
車のバックル
カチッ
❹
前向き用腰ベルトガイド

つづく

2 ロック機構に肩ベルトを取り付ける。

❶ 車のバックルの反対側の赤色のロック機構を開き、
❷ すき間の上まで肩ベルトをはさみ込む。

⚠注 意

● 肩ベルトが、幼児ベルト収納カバーの外側を通っていることを確認してください。内側を通っていると収納カバーが変形するおそれがあります。

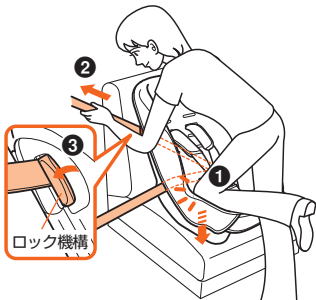
前向き取り付け（体重9kg～18kg未満のお子さま）

3 **チャイルドシートをしっかりと固定する。**

❶ 座面の奥にひざを乗せて体重をかけ、車の座席に本体を沈み込ませながら、

❷ ロック機構部分の肩ベルトを矢印の方向に強く引き、肩ベルトのゆるみをなくす。

❸ 肩ベルトが引き込まれないように、ロック機構を押し込み閉める。

⚠警告

- 車のバックルが前向き用腰ベルトガイドにあたることで、バックルベルトにゆるみができると、取り付けが不安定になります。バックルベルトにゆるみがある状態では、使用しないでください。

- バックルベルトの根元が、前向き用腰ベルトガイドより前から出ている座席では、取り付けが不安定になることがあります。

※取り付ける車種によっては、別売りの「フィットマット」が必要な場合があります。必ず取付確認車種リストをご確認ください。

ご不明な点は、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。

前向き取り付け完了チェックのしかた

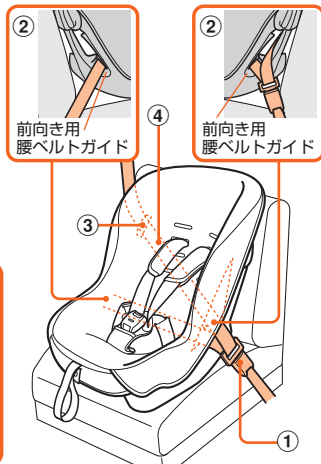
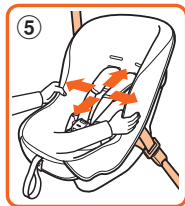
取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

①車両シートベルトの差込金具が車のバックルに確実に差し込まれており、はずれないこと

②腰ベルトが左右の前向き用腰ベルトガイドに通っていること

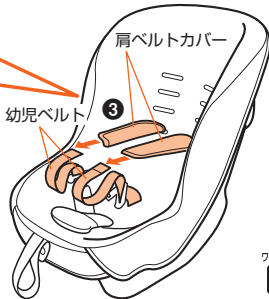
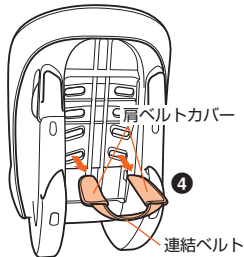
③肩ベルトが車のバックルと反対側のロック機構に通っていること

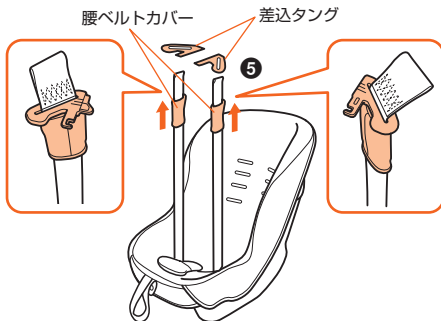
④車両シートベルトに、ゆるみ・たるみがないこと

⑤側面部分を持ち前後左右にゆすり、３センチ以上動かないことを確認する

シートカバーのはずしかた・取り付けかた

シートカバーのはずしかた

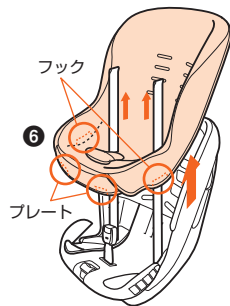
❶ 本体背面の幼児ベルト収納カバーをはずし、
❷ 左右の幼児ベルトを、ベルト調節金具からはずす。

❸ 幼児ベルトを肩ベルトカバーから引き抜く。
※ 肩ベルトカバーを引いても幼児ベルトははずれません。必ず、幼児ベルトを引いてください。

❹ 左右の肩ベルトカバーを本体背面から片方ずつ引き抜く。
※ 左右の肩ベルトカバーは、連結ベルトにより本体背面でつながっています。

ワンポイント ●本体正面から肩ベルト通し穴に肩ベルトカバーの先端を押し込みながら、本体背面より引き抜きます。

❺ 差込タング、腰ベルトカバー（EGのみ）を幼児ベルトからはずす。

腰ベルトカバー
差込タング
❺

※差込タングを取り付けるときは、左右表裏に注意してください。

❻ 左右側面2ヵ所のフックと、シート前部2ヵ所のプレートをはずし、シートカバーをはずす。

フック
❻
プレート

洗いかた

シートカバー、肩ベルトカバー、腰ベルトカバー(EG のみ)、インナークッションの洗いかた

●洗濯時は次のことを守ってください。

表示	内容
手洗い 30	液温は 30℃を限界とし手洗いしてください。
エンソサラシ（×）	塩素系漂白剤は使用しないでください。
アイロン（×）	アイロン掛けはしないでください。
ドライ（×）	ドライクリーニングはしないでください。
ヨワク	強く絞ると、シワが残ることがあります。
平	日陰で平干ししてください。

※蛍光増白剤を含まない洗剤を使用してください。
※洗濯後、脱水機、乾燥機は使用しないでください。

●インナークッションを洗濯するときは、中に入っているウレタンを取りはずしてください。(21 ページ参照)

エッグショックパッド(EG タイプ)について

「エッグショックパッド」は洗濯できません。
※インナークッション頭部用を洗濯するときは、必ずエッグショックパッドを取りはずしてください。(22 ページ参照)
※エッグショックパッドは、取り付けなくてもチャイルドシートをお使いいただけます。

本体、幼児ベルトのお手入れ方法

通常はかたく絞った布で水拭きしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水拭きし、日陰で乾燥させてください。

⚠警告
●中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトをいためるおそれがあり危険です。

保管・廃棄のしかた

保管のしかた

本　体

長期間使用しないときは、車から降ろし、直射日光が当たらず風通しの良い、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

取扱説明書

ご使用前に必ず本書読み、十分ご理解の上、座面のシートカバー裏側のポケットに保管してください。（5 ページ参照）

廃棄のしかた

●お住まいの各自治体の規程にしたがい処分、廃棄してください。
●衝突事故や製品を落下させたときなど、1 度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないようにシートカバーなどをはずして、廃棄してください。

製品を正しく安全にお使いいただくために

製品を正しく安全にお使いいただくための情報を、当社ホームページでご案内しております。
下記のホームページをご覧ください。

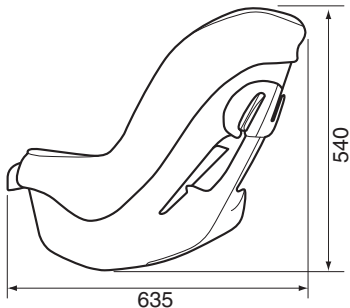
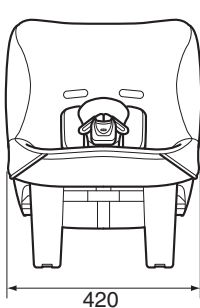
http://www.combi.co.jp/safetyinfo/index.html

製品仕様

■製品サイズ：(W)420 × (D)635 × (H)540

420

635

540

■**製品質量**：本体………4.6kg(EG)
4.4kg(S)

■**材質**：本体… ポリプロピレン、ポリスチレン、ウレタン
シートカバー
表 / ポリエステル
裏 / ウレタン

●本体を右から見たとき、このオレンジのラインを垂直にする。

●本体を左から見たとき、このオレンジのラインを垂直にする。

本体右

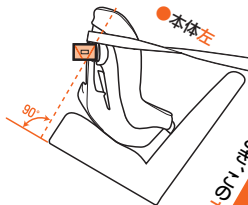
本体左

90°

90°

後向きでご使用の場合、角度チェッカーのオレンジのラインが垂直(地面に対して90°)になるようにチャイルドシートの背面の角度を調節してください。(39ページ参照)

角度チェッカー

チャイルドシートを後向きで取り付けるときの目安としてお使いください。

コンビ株式会社

商品に関するお問い合わせ、部品購入、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ
(Customer Service Center)
受付時間:10:00～17:00(日祝日、年末年始を除く)
〒339-0025　埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271
TEL.(048)797-1000　FAX.(048)798-6109

コンシューマープラザ
(Customer Service Center)／西日本担当
受付時間:10:00～17:00(土日祝日、年末年始を除く)
〒540-0026　大阪府大阪市中央区内本町2-4-16
TEL.(06)6942-0379　FAX.(06)6942-0302

*ホームページでのご案内
http://www.combi.co.jp/cp/

139636030　　11.12